

2024.02.28

# オンライン講座

精神医学（各論）\_2\_うつ病／双極症\_1



もりさわメンタルクリニック

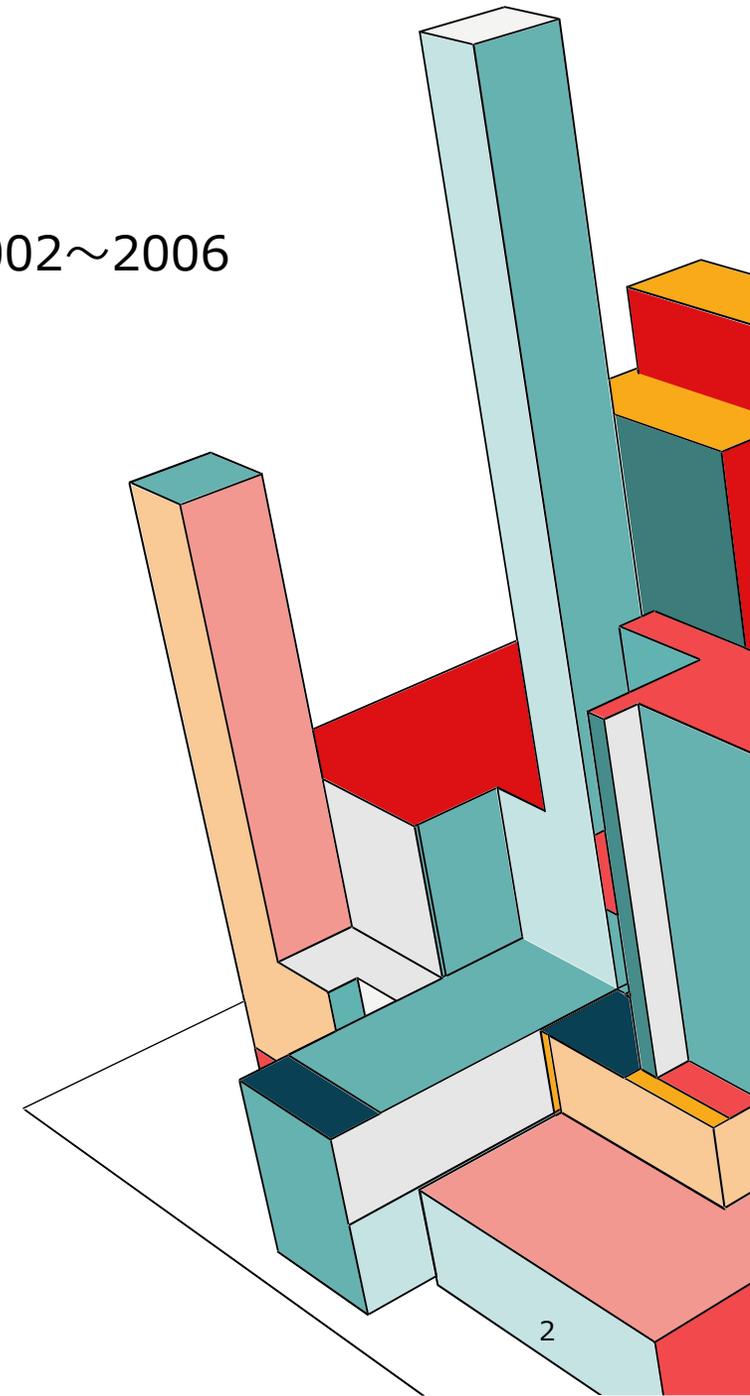
# うつ病／双極症\_\_疫学

双極症 I 型の生涯有病率は0.4%、II 型で0.2% ※世界精神保健日本調査2002～2006

うつ病は約5% (WHOウェブサイト<https://www.who.int/news-room/factsheets/detail/depression>)

双極型は男 = 女、単極型うつ病 : 女 > 男

双極型は若年発症、単極型うつ病は30歳以降



# うつ病／双極症\_\_原因

原因不明。以下のことが示唆されている。

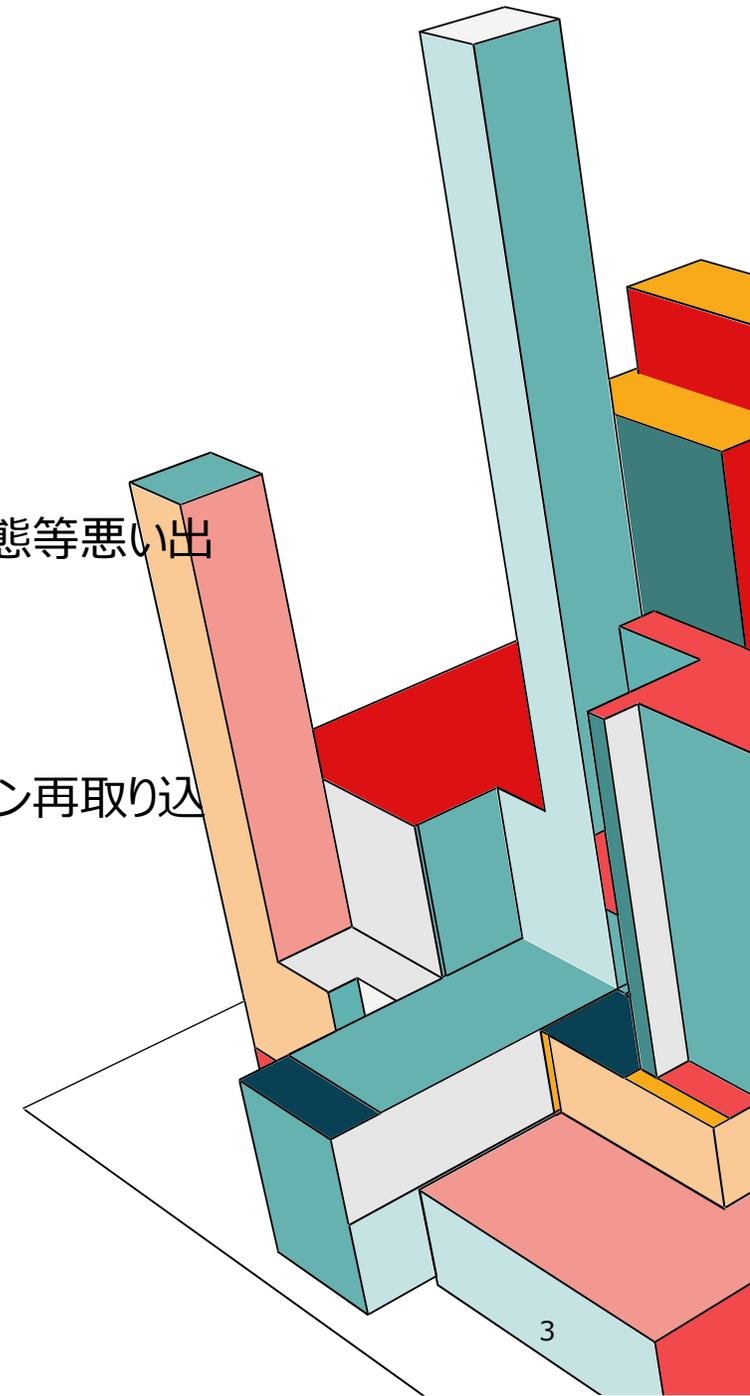
心因論：心理的ストレスが認められることが多い。

うつ病：死別、失恋、失職、転勤、昇進、引っ越し

双極症の躁エピソード：一般的には嬉しい出来事だが、「葬式躁病」と呼ばれる病態等悪い出来事も誘引となる

遺伝：双極症の一卵性双生児一致率は70～80%、うつ病は40%程度

生化学的変化：脳内モノアミン（ノルアドレナリン、セロトニン→SSRI選択的セロトニン再取り込み阻害薬の内服治療）の減少

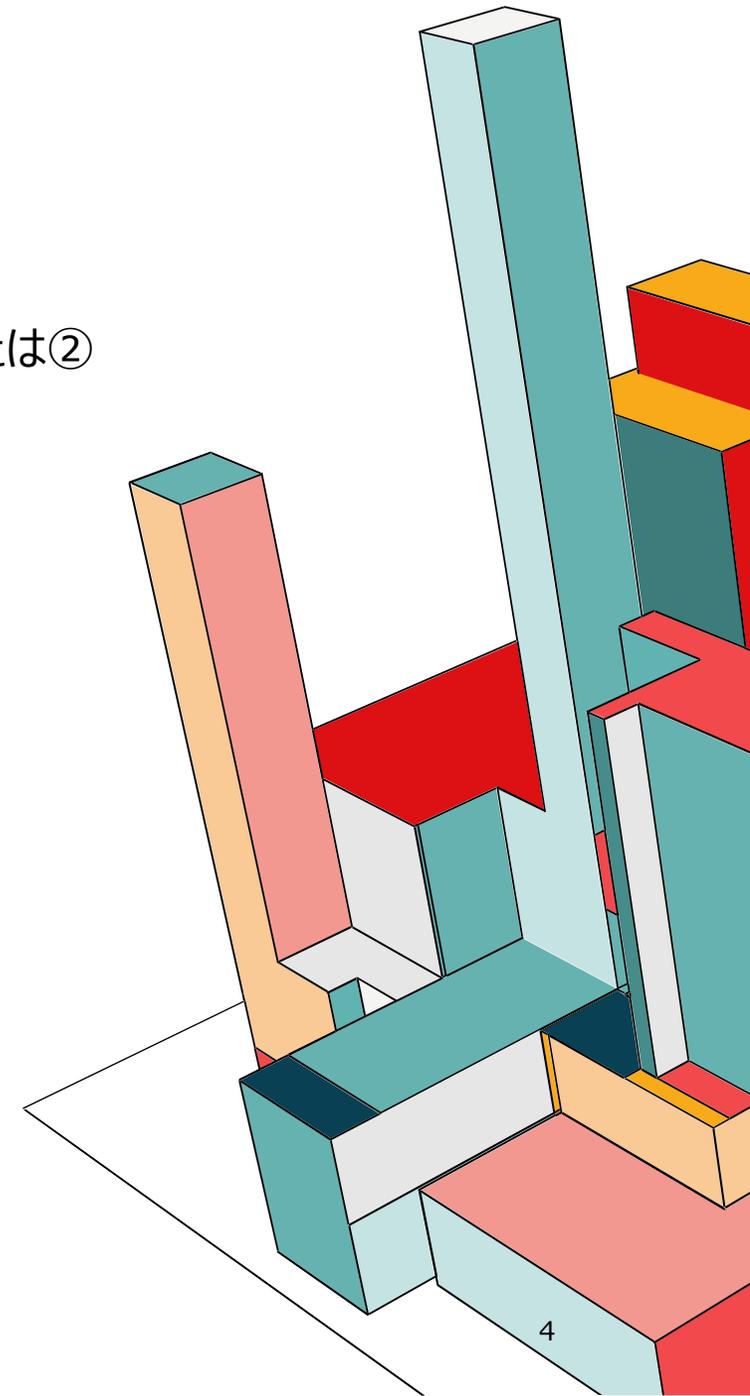


# うつ病／双極症\_\_うつ病の症状

DSM-5-TR ※一部改変

A. 以下の症状のうち5つ以上が2週間以上存在し、そのうち少なくとも一つは①または②

- ①ほとんど毎日の（※以下の症状も同様）抑うつ気分
- ②興味・喜びの減退
- ③食欲の減退・増加
- ④不眠または過眠
- ⑤精神運動興奮または制止
- ⑥疲労感、気力の減退
- ⑦無価値観、罪責感→微小妄想、罪業妄想
- ⑧思考力・集中力の減退
- ⑨希死念慮、自殺企図



# うつ病／双極症\_\_躁病の症状

DSM-5-TR ※一部改変

A. 気分が異常に高揚、開放的または易怒的な状態が1週間以上持続

B. 上記の期間中、以下のうち3つ以上が認められる

- ①自尊心の肥大または誇大→誇大妄想
- ②睡眠欲の減少
- ③多弁、会話心迫
- ④観念奔逸、競合思考
- ⑤注意散漫（転導性）
- ⑥活動増加、焦燥（精神運動興奮）
- ⑦快楽的活動への熱中

